

南渡島圏域における紹介受診重点医療機関について

- ・ 紹介受診重点医療機関となる意向を示していた次の4医療機関について、令和5年7月26日に開催された地域医療構想調整会議地域医療構想専門部会において、紹介受診重点医療機関としての妥当性について協議を行い了承されたことに伴い、同年8月1日付けで道のホームページで公表されたことを報告します。

独立行政法人国立病院機構 函館病院

市立函館病院

函館五稜郭病院

函館中央病院

【参 考】

- ・ 「紹介受診重点医療機関」は、外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るために都道府県ごとに決定される医療機関です。
患者がまず地域の「かかりつけ医機能を担う医療機関」を受診し、必要に応じて紹介を受けて紹介受診重点医療機関を受診する、その後状態が落ち着いたら逆紹介を受けて地域に戻る、といった受診の流れを明確にするのが目的です。
- ・ 「紹介受診重点医療機関」は、次の表の1又は2の基準を満たしているかどうかを確認し、南渡島圏域として公表することの必要性について協議したものです。

1 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準（①かつ②）を満たした医療機関

- ① 初診に占める重点外来の割合 40%以上
- ② 再診に占める重点外来の割合 25%以上

2 医療資源を重点的に活用する外来に関する基準（①かつ②）を満たさない医療機関については、次の事項を活用（③及び④）（参考水準）

- ③ 紹介率 50%以上
- ④ 逆紹介率 40%以上